

理科（生物基礎） 授業指導計画

授業者

- 1 日 時 令和4年2月9日（水）5限
- 2 実施場所 13HR教室（南館2階）
- 3 H R 13HR
- 4 生徒観 質問の答えを自主的に考えることができる学習意欲の高い生徒が多い。しかし、学習内容と日常生活とを結びつけたり、既習の分野と関連させて考えたりできる生徒は少ない。また、箇条書きや口頭で表現することは得意とするが、文章で表すことが苦手である。
- 5 単 元 物質循環とエネルギーの流れ
- 6 本時の目標 ①窒素がどのように植物に利用され、生態系を循環するのかについて興味・関心をもつ。（関心・意欲・態度）
②窒素循環に関わるはたらきや細菌について理解している。（知識・理解）
- 7 本時の展開

	指 導 事 項	留 意 点
導 入 (20分)	肥料の成分と各成分が使われている物質について考察し、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 肥料の三要素について、写真を参考に考え、それぞれの成分が生体内のどの物質に使われているかを考察し、MetaMoJi Classroomのワークシートに記入させる。 既習の内容と関連付けながら発問する。
展開1 (25分)	窒素循環について説明する。	<ul style="list-style-type: none"> 窒素化合物の変化とそれに伴うはたらきや細菌に注目しながら、生態系内における窒素循環のしくみを説明する。
展開2 (5分)	炭素循環と窒素循環の違いについて理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 炭素は開放的な循環で、窒素は閉鎖的な循環であることを、電子黒板で比較しながら伝える。
まとめ (3分)	本時の振り返りをする。	